

## 横浜市記者発表資料

平成26年8月31日  
横浜市保健所健康安全課

## デング熱国内感染例の発生について

平成26年8月29日に、市内医療機関から2名のデング熱を疑う患者の報告があり、本市衛生研究所で血液検査を実施したところ、いずれも陽性となりましたのでお知らせします。

患者はいずれも最近1か月以内の海外渡航歴はなく、8月16日～18日に都立代々木公園周辺に出かけていたことが確認されています。

なお、国立感染症研究所にて、詳細な遺伝子検査を実施予定です。

## 1 患者について

	居住地	年齢	性別	職業	最近1か月以内の海外渡航歴	症状	発症日	入院の有無
1	横須賀市	10歳代	女	学生	なし	発熱(39.5℃)、咽頭痛、発疹等	8月23日	有※
2	港北区	20歳代	男	学生	なし	発熱(39℃)、頭痛、倦怠感、吐気等	8月25日	有

※市内医療機関に入院中

## 2 推定感染地域

いずれの患者も都立代々木公園周辺に出かけており、他にも東京都、埼玉県及び新潟県において、都立代々木公園周辺に出かけたデング熱患者が複数発生していることが確認されています。

デング熱の国内感染は極めてまれなことから、都立代々木公園周辺でデングウイルスを保有している蚊に刺されて感染した可能性が疑われます。

## 3 横浜市の対応について

- 医療機関に対して、デング熱の国内感染が疑われる事例においては、診断前であっても速やかに情報提供していただくよう周知しています。
- 市内の蚊のサーベイランス調査では、平成23年度からこれまでデングウイルスは検出されていません。(別添参照)

## 4 デング熱について

デング熱は人から人に直接感染する病気ではありません。ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することではじめて感染します。

また、感染した場合も、一般に一週間前後の経過で回復すると言われています。

なお、ヤブ蚊に刺されて高熱が出た場合には、かかりつけの医療機関などを受診してください。

## 5 市内のデング熱患者届出状況

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
デング熱	6	4	6	3	11	11	5

※いずれの患者も調査の結果、海外での感染と考えられます。

別添 横浜市内のヒトスジシマカ成虫生息状況調査結果(平成26年6～8月中間報告)

お問合せ先	
横浜市保健所健康安全課長	岩田 眞美 Tel 045-671-2442、2467